

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ゆうら
------	-----

公表日 R8年2月17日

利用児童数 R7年12月1日現在 63名

回収数 27

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2	0	6	・新しい建物になってから室内を見たことがないです。 ・現状もこあクラスは狭く感じました。	・今後、最終移転があるため、移転後には保護者向けに施設内を見てもらえる機会を検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	3	0	4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	6	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	7	1	3		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	3	1	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	0	0	0	・いつも様々な経験をさせてもらっていて、ありがとうございます。 ・かける時間の予定の詳細（時間・弁当の有無）を、数日前ではなく、もう少し早めに教えていただけるとありがたい	・かける時間、土曜日プログラムの案内を週の頭に保護者の方へ伝えられるように変更しました。より保護者の方にも分かりやすくなるよう検討・実施をしていきます。ご意見いただきありがとうございます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	5	3	4		
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	2	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	3	3	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	26	1	0	0	・子どもの細かい変化にも気付いて下さり、丁寧に対応してもらえてありがとうございます。	・子どもの姿、情報を職員間で共有し、必要な情報、可愛い姿を伝えることができるよう努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	3	1	0	・面談の機会を定期的に設定していただいているので、安心しています。	・面談の希望を毎月利用希望表を通して、聞き取りをしています。お迎え時にも丁寧に話ができる環境を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	0	0		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	4	3	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	0	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	2	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	3	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	3	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	1	・丁寧に対応していただいて、安心して利用させていただいています。	・今後、施設移転もあるため、子どもたちにとって安心して遊びを楽しむことができる環境を作っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	0	1	・子どもは毎回楽しく利用させてもらっています。 ・子ども達は楽しみに利用させていただいていて、私たち保護者は安心して利用させていただいている。	・「たのしかった」「おもしろかった」の経験や「もう一回やってみよう」体験を職員と一緒に経験できるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆうら				公表日	R8年2月17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態やクラスの状態に合わせて、屋外活動も子どもたちの過ごす場所のひとつとして環境調整を行っています。 ・クラス移転に伴い、保護者への移転スケジュール（見学会）の集合説明会を実施、参加できなかつた保護者には個別に説明を行い、クラス移転をしていました。クラスの過ごし方の流れを検討し、環境設定を行いました。限られた室内であるため、個別に合わせたブースを作り、安心して過ごせる場所を作っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設移転があるため、子どもたちが見てわかる環境や過ごしやすい環境となるように検討し設定していきます。また、安心して通うことができるよう保護者の方にも室内をみてもらう機会を設けていきます。 ・子どもの姿や遊びに合わせて、室内の環境を都度検討し、環境設定に繋げていきます。設定した環境の見直しを都度行い、改善に繋げています。 	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートは昨年度同様、Googleフォームと用紙を配布し、保護者の方が回答しやすい方を選んでもらえるようにしています。昨年度に比べ、回答率は微増していました。 ・研修に関しては、都度案内を出し、参加希望職員が受講できるようにしています。 ・会議や面談で職員の意見と聞き取る場、アウトプットする場を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートは前年度に比べ回答率が微増していますが、挙がってくる意見が少ないのは大きく変わっていないため、設問内容や設問数の見直し検討し、実施に繋げていきます。 ・意見交換をする場があると話はできますが、職員全体が様々な事に対して自分事として捉え、役割を持ち、事業運営ができる仕組み作りをしていきます。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供プロセスの手順を見直し、個別支援計画の目標設定も具体的になり、支援内容も目標に沿って職員全体で検討、作成に繋げている。集団プログラム、個別プログラムについても計画へ組み込み作成に繋げています。 ・活動提案は主担当はいますが、職員全体で検討しています。また、5領域に基づいて振り返りをしています。 ・アセスメントは保護者からの聞き取った内容や日々の記録からの読み取り、各職員が状態を記載し作成に繋げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成前に保護者だけでなく、子どもたちへの聞き取りを実施していきます。言葉や表現することが難しい場合、普段の姿からニーズをくみ取り、反映をしていきます。 ・施設移転に伴い、集団活動・個別活動や運営方法の見直しをしています。また、室内のブースの充実を図るとともに個別活動の充実に繋げていきます。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援期間や市町、医療機関とは必要な時に連携をとることができるよう努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの理解を深め、連携をしていくために関係機関との連携に努めています。また、学校連携含め放課後等デイサービス終了後、次のサービス移行する際に、情報提供を丁寧にしていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 同法人の療育施設やこども園へ現場研修へ行き、職員間での関わりを持ち、情報共有に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者対応をより丁寧に行えるよう、仕組み作りをしていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 日々の送り出しや保護者面談を通して、利用児への共通理解、細やかな情報共有に努めています。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画作成前に保護者への意向確認をサービス提供プロセスに組み込み、聞き取りを行っています。聞き取った内容は、計画作成前に職員間で共有をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の集いを企画し、保護者同士の交流、息抜き、職員との交流を重ねていき、様々な声を拾い上げ、事業運営に繋げていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 親子参加型プログラム、保護者の集いを開催し、親子や保護者のみと職員と交流や保護者同士の交流に繋げることができます。その交流の中から、保護者の思いを汲み取るように努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画の説明を丁寧に行い、支援に繋げていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		<ul style="list-style-type: none"> インスタグラムを通して、子どもの姿や遊び、ゆうらで大事にしたいことなどをを発信しています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> インスタグラムの開設を行い、定期的に投稿し、子どもたちの姿をSNSを通して発信しています。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	4		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画や事業継続計画（BCP）を基に、研修や訓練を実施し、非常時への対応に取り組んでいます。 保護者も交えた171訓練を実施しています。参加の周知案内を行い、訓練後、アンケートを取り保護者 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練等を実施していますが、保護者への発信に課題があります。SNSを活用し、タイムリーに発信できるようにしていきます。 保護者へのマニュアル周知に課題があるた

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	の意見を聞き取るようにしています。 ・ヒヤリハット、事故の共有はしていますが、課題や対策について考え、実践、振り返るに課題があるため、職員全体で実践できるよう努めています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	3	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆうら			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和7年11月16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和7年11月16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なプログラム活動	活動の主担当を中心に運営を行っている。職員全体で子どもと一緒に"楽しい"を考えられている。	・施設移転に伴い、集団活動の他に個別活動の充実を図ることができるよう環境設定やあそび準備に努めています。また、あそびをより楽しむことができるよう、職員全体で検討できる仕組み作りをしていく。
2	SNSを活かした情報発信を開始	インスタグラム開設に伴い、ブログや便り以外の方法で子どもたちの生き生きとした姿を発信に取り掛かることができた。	・タイムリーな情報発信と合わせて、ゆうらで大切にしたいと考えていることを言葉にのせ、情報発信の強化に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安心安全に過ごすことができる環境	建物の老朽化と施設移転	・施設移転に伴い、2クラス運営から1クラス運営に変更となるため、安全に配慮した導線と子どもの状態に合わせた環境設定に努めしていく。 ・あそび場の開拓を行い、運動発達の促しができる環境を整えていく
2	関係機関との連携	学校との連携が送迎時の短時間のみの情報共有	・学校と個別支援計画の共有における仕組み及び、職員間で連携を踏まえた話ができる仕組みを整えていく
3	サービス提供プロセスに利用児童の意向聞き取り	保護者への意向確認はしているが、児童からの聞き取りが弱い	・サービス提供プロセスに保護者への意向確認と共に児童への聞き取りや子ども場での表現が難しい子に対しては様子等から汲み取り共有ができるように努めています。